

## 要望書（小牧市老人クラブ連合会）

### 1. 行政区に一つの組織はお認め頂く補助金制度の確立

（回答）

市としましては、全ての区で対象となる方が老人クラブに参加できる環境が理想と考えますが、区の規模も大小様々で、役員のなり手不足が深刻になるなど厳しい現状であることは承知しています。地域での活動には一定数の人員が必要であり、会員数を限定しない補助は、クラブ活動の形骸化につながる恐れもあることから、慎重な検討が必要であると考えております。

### 2. 事務局職員（2名）の常駐の配慮

（回答）

老人クラブの活動は、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として、会員の生きがいづくりや相互の生活支援という、支え合いの地域づくりの観点からも大きな期待を寄せているところでありますので、友愛訪問などの具体的な活動に対して補助金を加算するといった仕組みなどを検討してまいりたいと考えております。

### 3. 寿学園と老人クラブ連合会への行政対応バランスの一考

（回答）

地域において高齢者の方が永年培ってきた知識や経験を活かせる場があることは、地域・高齢者双方にとって大切なことですので、今後も老人クラブの活動が持続可能なものとなるよう会員増強やリーダー育成のための取り組みについて支援をさせていただきたいと考えております。